

～運営だより～

第11号 2026年7月発行
 製作：きくち環境テクノロジー
 お問い合わせ先：
 ☎096-248-0330（代表）

～ご挨拶～

梅雨が明け本格的な夏が到来し暑さが増してまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか？きくち環境テクノロジーです。

2021年4月に運営を開始し、6年目に入り、この「運営だより」も11回目の発行となりました。これまで多くの方にご利用、ご見学頂き、地域に根差した施設として、今後も職員一同初心を忘れずに、毎日ごみを燃やし、クリーンな空気の排出と発電を続け、安心感があり信頼される施設目指して日々努めてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

施設紹介

施設名：菊池環境工場 クリーンの森合志(ごみ焼却施設)
 場所：熊本県合志市幾久富460番地
 規模：170t(85t/日×2炉)
 処理方式：全連続運転式燃焼式ストーカ炉
 余熱利用設備：蒸気タービン発電(2,800kW)

本施設では24時間運転でごみを燃やし、その熱で蒸気を作ってタービンを回すことで発電しています。各設備は日々の点検整備以外にも、年に1回設備を停止して定期整備を行っています。



※施設外観※

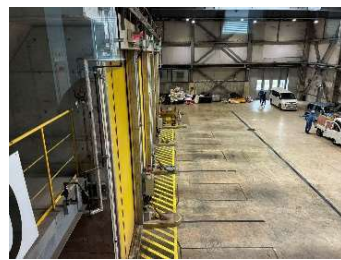


※管理棟外観※

ごみの持ち込みに関して

受入対象ごみ：燃やすごみ、可燃性粗大ごみ
 受付時間：月曜日～金曜日
 8時30分～12時、13時から17時
 土曜日 8時30分から12時まで
 定休日：日曜、祝日、年始（1月1日から3日）

持ち込み可能なごみは「燃やすごみ」と「可燃性粗大ごみ」のみとなります。それ以外のごみはお持ち帰りいただく必要がありますので、事前にしっかり分別してご来場ください。



計量棟にて持ち込みごみの受付と計量を行います

生ごみのおい対策

夏場は気温が高く、生ごみのおいが発生しやすくなります。対策として、まず「水分をしっかりと切る」ことが大切です。生ごみの水切りは、におい対策として効果的なだけでなく、ごみ処理施設での効率的な焼却やごみ質の安定にも役立ちます。また、ため込まず、こまめにごみを出すようにしましょう。さらに、新聞紙に包んだり、袋の口をしっかりと閉じて密閉することや、ごみ箱を清潔に保つことも、においの拡散を防ぐために効果的です。少しの工夫でにおいは抑えられますので、ぜひお試しください。



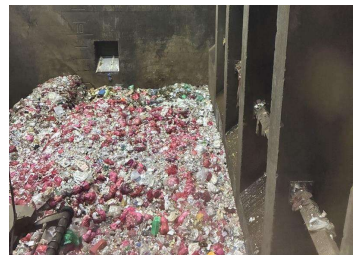
袋の口をきつく結ぶ

生ごみの水気はよく切る

ごみピットの役割

当施設のごみピットの容量は5,800㎡あり、その大きさは25mプール約10杯分に相当します。施設に搬入されたごみは、この大きなピットに一時的に貯留され、約12日分のごみをためておくことができます。

ごみピットは、焼却設備の点検や整備などにより一時的にごみを燃やすことができない場合でも、継続してごみを受け入れるための重要な設備です。また、ごみを安定的に保管することで、焼却炉へ効率よく供給する役割も担っています。



ごみピットの様子

